

# 炭酸マグネシウム

当社は、製塩事業を出発点として 1962 年より水酸化マグネシウムの製造を開始し、製塩工程で得られる清澄な海水から水酸化マグネシウムを自社生産しております。海水総合利用技術を企業成長のためのコアテクノロジーと位置づけ、この社内資源である水酸化マグネシウムを原料とする一貫プロセスで炭酸マグネシウムの製造を 2010 年 10 月より開始しました。長年培った技術と品質管理体制で、ゴム製品、食品、塗料、化粧品、履物など様々な分野における 厳しい要望に応えた製品を提供いたします。

## 物理化学的性質

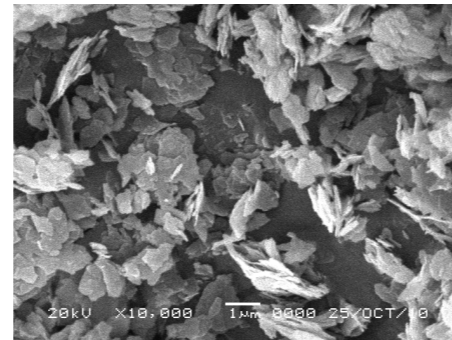
製品名	炭酸マグネシウム TT、炭酸マグネシウム TT 食添
CAS No.	546-93-0, 1309-42-8, 39409-82-0
化学名	塩基性炭酸マグネシウム
化学式	$4\text{MgCO}_3 \cdot \text{Mg}(\text{OH})_2 \cdot 4\text{H}_2\text{O}$
分子量	467.7
結晶形	板状結晶
屈折率	1.52-1.53
真比重	2.1-2.2 g/cm <sup>3</sup>



炭酸マグネシウム製造工場

## 製品規格

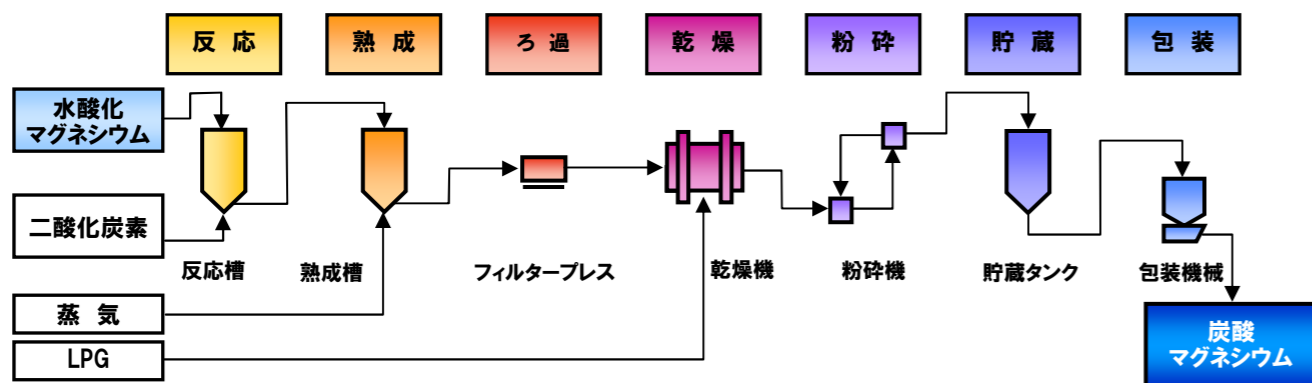
外 観	—	TT	TT 食添*
		白色微粉末	白色粉末
見掛比重	g/cm <sup>3</sup>	0.20~0.25	—
ふるい残分(75μm)	%	0.5 以下	—
加熱減量**	%	2.0 以下	—
強熱減量	%	54.0~56.0	—
MgO	%	40.0~43.0	40.0~44.0
Fe <sub>2</sub> O <sub>3</sub> +Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	%	0.10 以下	—
T-Cl	%	0.15 以下	—
塩酸不溶分	%	0.10 以下	—
水可溶物	%	1.0 以下	1.0 以下
CaO	%	0.60 以下	0.60 以下
ヒ素 (as As <sub>2</sub> O <sub>3</sub> )	μg/g	—	4.0 以下
重金属	μg/g	—	30 以下
溶 状	—	—	わずかに微濁



製品の SEM 像

\*食品添加物公定書に準拠 \*\*吸湿するため製造直後の値を測定

## 製造工程



## 用途例

ゴ ム	補強剤 天然ゴムに対する透明性付与 ブロッキング防止剤
エラストマー	自動車用 PVC プラスチソルの安定化剤 塗装済みゴム部品の退色・変色防止
プラスチック	プラスチック製品に対する難燃・断熱性付与 発泡 EVA 製品に対する発泡調整剤
塗 料	増量剤 顔料 塗料・インキ製造におけるアンチミスト効果・消音効果 紙材製造における吸油効果
インキ	
紙	
食品添加物	食卓塩・粉末飲料に対する固結防止 食品に対するマグネシウム強化・発泡剤 ビスケット製造における離型剤
動物飼料	ソフトドリンク用炭酸源 飼料に対するマグネシウム源
農薬・肥料	農薬・肥料に対するマグネシウム源
衛生材料	歯科用石膏・ベビーパウダー等の基材 流動性(レオロジー)付与 石鹸製品製造における水分量安定 歯磨粉製品の芳香成分保持
化粧品	
トイレタリー	
セラミックス&ガラス	セラミック製品の艶消し剤 ガラス用溶融剤 セラミック誘電体製品の誘電率調整剤
触 媒	触媒製品に対するマグネシウム源
建築資材	混合セメントの混和剤 特殊ステンレス鋼用脱窒剤
鉄鋼業	

## 取り扱い上の注意

- ご使用 : MSDS 記載注意事項に従って下さい。
- 取扱い : 特に法的規制はありませんが、長時間連続して大量に取り扱う場合には、作業環境の浄化に配慮してください。
- 保 管 : 高温・多湿に注意して下さい。



本カタログに記載されている数値は、測定値の代表例です。  
本カタログの内容は予告なしに変更することがあります。  
本カタログで紹介した用途への使用には、工業所有権にもご注意ください。

2011.2.1

【製 造】 ナйкаイ塩業株式会社

〒706-0305 岡山県玉野市胸上 2721  
TEL: 0863-41-1501 FAX: 0863-41-1506  
http://www.naikai.co.jp

【販 売】 ナйкаイ商事株式会社

〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町 3-2-2  
TEL: 03-3231-3741 FAX: 03-3231-3748  
http://www.naikai.jp